

## 国産牛乳乳製品需要・消費拡大対策

【943（878）百万円】

### 対策のポイント

安全で品質の高い国産の牛乳・乳製品を学校給食用に安定的かつ効率的に供給すること等により、生乳需要の維持・拡大を図ります。

### <背景／課題>

- ・条件不利地域への学校給食用牛乳の供給を支援することにより安定的な生乳需要を確保するとともに、国産生乳を用いた牛乳・乳製品の供給を支援することにより学校給食における生乳の利用拡大を図ることが必要です。
- ・また、少子化の進行に伴い、児童生徒数の減少が見込まれることから、学校給食以外の牛乳・乳製品の利用拡大を図り、牛乳・乳製品の需要を拡大することが必要です。

### 政策目標

- 生乳の生産量（795万t（20年度）→800万t（32年度））
- 学校給食で約40万klの牛乳の需要量を確保

### <主な内容>

#### 1. 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

遠隔地、離島など供給条件が不利な地域への学校給食用牛乳の供給を支援します。

#### 2. 高付加価値牛乳地域利用推進事業

自県産生乳を用いた低温殺菌牛乳の学校給食での供給を支援します。

#### 3. 牛乳・乳製品利用拡大推進事業

学校給食における国産生乳を用いたヨーグルト等の提供、保育所等における牛乳飲用の拡大を支援します。

学校給食用牛乳等供給推進事業 913（864）百万円  
補助率：定額、1／2以内  
事業実施主体：乳業者、生産者等が構成する組織

#### 4. 国産牛乳・乳製品の海外市場開拓のための支援

国産牛乳・乳製品の新たな需要の創出を図るため、中小乳業者等が本格的な輸出に取り組む際に必要となる輸送上の課題等の調査、試験的輸出の実施等の試行的取組を支援します。

牛乳乳製品海外市場開拓支援事業 15（0）百万円  
補助率：定額、1／2以内  
事業実施主体：乳業者、生産者等が構成する組織

[平成26年度予算の概要]

5. 乳製品国際規格策定・品質確保活動のための支援 [再掲]

生乳需給の安定を図るとともに、乳製品の需要拡大を図るため、国際乳製品規格に我が国の意見を反映させるための活動、乳製品の品質確保のための取組等を支援します。

乳製品国際規格策定・品質確保支援事業 16 (14) 百万円  
(前年度：乳製品国際規格策定活動支援)  
補助率：定額、1 / 2 以内  
事業実施主体：(公財)日本乳業技術協会

[お問い合わせ先：生産局畜産部牛乳乳製品課 (03-3502-5987)]